

背景資料 1:

# 移住の利益を すべての人に

移住に関する国際協力の緊急要請

**事務総長が今この報告書を  
発表するのはなぜですか。**

国連加盟国は、2018年12月の採択を目指し、「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト」の交渉を開始しようとしています。

『Making Migration Work for All (移住の利益をすべての人に)』は、このプロセスに対する事務総長の貢献として発表された報告書であり、移住に関する建設的な国際協力に向けたビジョンを提示するものとなっています。

**現在、移住が国連にとって重要なのはなぜですか。**

戦争や迫害を逃れた難民に対する国連の支援には、長い歴史がありますが、国際移住というさらに幅広い現象については、断片的な取り組みとなっています。

移住は広がっている現実です。全世界の国際移民は2億5,800万人と、2000年に比べて48%増加し、世界人口の3.4%を占めています。

大半の移民は、正規に渡航し、働いています。平均でその収入の約85%を受入国で費やすと共に、多くのコミュニティでは、人手不足の解消にも一役買っています。

移民は毎年、数十億ドルを本国に送金し、国境を越えて技能・技術を共有することで、国際的開発にも大きく貢献しています。2017年の送金額は約6,000億ドルと、政府開発援助(ODA)総額の3倍に相当します。

移住は、女性のエンパワーメントと平等を加速させます。移民の48%は女性で、しかもその3分の2が就労しています(全世界の女性の就労割合は2分の1)。

しかし、多くの国で雇用やアイデンティティ、治安に対する不安が高まる中で、移民が安易な非難の対象となることがあまりにも多くなっています。

多くの移民は、虐待や搾取、生命の危険に直面しており、現時点で600万人近くが強制労働の状態に陥っています。



移住のための  
グローバル・コンパクト

『移住の利益を  
すべての人に』は  
各国政府に対し、  
移住をすべての  
人にとって生産  
的、公正かつ人  
間的なものとする  
ため、共に自発  
的に協力するよう  
求めています。

近年では、移民と難民双方の大規模な移動が、深刻な人道危機につながっています。

2014 年以來、外国で安全と尊厳を求めようとして命を落とした移民と難民は 2 万人を超えており、2017 年だけでも、その数は 5,000 人以上に及んでいます。

気候変動や環境破壊、人口圧力、社会経済的圧力により、移住は全体として、今後数十年でさらに増大する公算が大きく、極めて脆弱な状況で人々の大規模な移動が生じる恐れは高まっています。

### 事務総長はこの報告書全体として、どのようなメッセージを発していますか。

『移住の利益をすべての人に』は国連加盟国に対し、移住の利益を最大限に高め、その負の側面に取り組むための協力を緊急に求めています。

報告書は「現在、移住に関する排外主義的な政治的発言があまりにも広く見られる」と警告すると共に、各国政府に対し、こうした発言に惑わされ、政策を歪めないよう強く訴えています。

事務総長は、移住が移民自身だけでなく、すべての国に経済的、社会的な利益をもたらすことを示す圧倒的な証拠があると強調しています。

国連加盟国にとっての「基本的な課題」は、移住に非現実的な制約を課すのではなく「移住が私た

ち全員にもたらず機会を拡大すること」にあります。

各国はこの課題に取り組むため、あらゆるレベルで法の支配を強化する必要があります。

加盟国は、(i) 移民が働いたり、学んだり、家族と合流したりするための合法的な経路をさらに拡大し、非正規移住の誘引を減らすと共に、(ii) 移民を抑止したり、拘留したりするために、人権を侵害するような厳格な政策の採用を回避すべきです。

各国政府が合法的な移住経路を広げれば、「非正規に越境する人々も、違法に働く移民も、非正規移民の虐待も減る」こととなります。労働市場のニーズもより効率的に充足され、移民の帰還に関する協力も促進されるでしょう。

事務総長は、各国に入国管理の責任があることも認めています。

報告書は、人道と人権にかかわる緊急優先課題として、人々の大規模な移動に取り組む特別戦略をコンパクトに盛り込むよう求めています。

### では、移住を管理するための新たな制度や法体系を求めているのですか。

そうではありません。グローバル・コンパクトは、各国政府に法的拘束力のある義務を課すものではありませんが、国際社会には、有意義な形でコンパクトの目的を果たす道義的な責任があります。

政府が単独で、移住の全側面を管理できないことは明らかです。『移住の利益をすべての人に』は各国政府に対し、移住をすべての人にとって生産的、公正かつ人間的なものとするため、共に自発的に協力するよう求めています。

加盟国は持続可能な開発目標 (SDGs) の目標 10 で、SDGs 達成に向けた移住の適切な管理の重要性を強調し、この現実を認識しました。

国連システムは国際的にも、また、その活動現場でのプレゼンスを通じて国内的にも、こうした協力に対する支援をさらに強化することができます。

事務総長は、加盟国によるグローバル・コンパクトの履行をよりよく支援できるよう、国連システムの体制の整備を図ることを約束しています。

日本語訳: 国連広報センター